

HAYDN^{HM}
MARATHON 34

日本センチュリー交響楽団

ハイドン マラソン

ハイドンの全交響曲を演奏・CD化するプロジェクト

ゴールまであとわずか!



©山岸 伸

Norichika Iimori, Conductor

指揮 飯森 範親

©TOMOKO HIDAKI

Haruma Sato, Cello

チェロ 佐藤 晴真

シーズン最後のハイドンマラソンを飾るのは
後期シンフォニーとチャイコフスキー名作の饗宴

ハイドン

交響曲 第80番 二短調 Hob. I:80

J. Haydn: Symphony No.80 in D minor, Hob. I:80

チャイコフスキー

ロココの主題による変奏曲 イ長調 作品33

P. I. Tchaikovsky: Variations on a Rococo Theme in A major, Op.33

ハイドン

交響曲 第102番 変ロ長調 Hob. I:102

J. Haydn: Symphony No. 102 in B-flat major, Hob. I:102

2024. **3.1** **金**

19:00開演
(18:00開場)

ザ・シンフォニーホール

A席 5,000円 / B席 4,000円

一般発売日 2023年11月1日(水)

※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ご予約・
お問合せ

▶ センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311(平日10:00-18:00)

ご予約

▶ ザ・シンフォニーチケットセンター
☎06-6453-2333(11:00-16:00 火曜休)

▶ e+(イープラス)
https://eplus.jp/

▶ センチュリー・ネットチケット(24時間)
https://www.jcso.or.jp/ticket/



主催:公益財団法人日本センチュリー交響楽団 協力:ザ・シンフォニーホール 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 大阪市助成

スペシャル
スポンサー **地主株式会社**
JINUSHI Co., Ltd.

スペシャル
スポンサー **旭酒造株式会社**

フレンドシップ
パートナー **GAMBA
OSAKA**

オフィシャルスポンサー **栄光ホールディングス株式会社** / **MCS MKGW-T** / **株式会社エムズ住建設**

ONKYO / **KANEKA** / **共栄法律事務所** / **KINCHO** / **TheSymphonyHall**

新コスモス電機株式会社 / **TCG 高松コンストラクショングループ** / **S Shadow** / **TAKUMA**

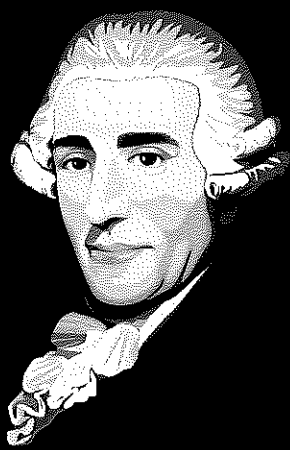
TOYO TIRES / **Hankyu** / **THE HILION PLAZA** / **Phoxter**

三井住友信託銀行

日本センチュリー

検索





ハイドン マラソン



飯森範親 マエストロと日本センチュリー交響楽団が挑む、ハイドン全104曲の交響曲を演奏、CD化する一大プロジェクト＝ハイドンマラソン。ハイドンのシンプルながら奥深い楽曲を、これまで磨き上げてきたセンチュリーの珠玉のアンサンブルが美しく会場を満たします。

今シーズンの最終回となる「HM.34」では、ハイドンの後期に差し掛かった第80番とハイドンのイギリス訪問時に作曲された「ロンドン交響曲」の中から第102番をお届けいたします。

そしてハイドンと共に聴きいただくのは、チェロの名作、チャイコフスキーの「ロココの主題による変奏曲」。ソリストには、センチュリーと共演する度にその素晴らしい音楽性を示してきた、気鋭チェリストの佐藤晴真を迎えます。ハイドンとチャイコフスキーに浸る珠玉の一夜、どうぞお楽しみください。



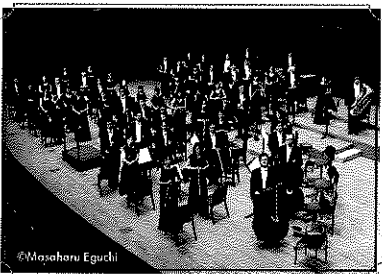
飯森 範親 Norichika Iimori / Conductor (日本センチュリー交響楽団 首席指揮者)

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督 (GMD) に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



佐藤 晴真 Haruma Sato / Cello (チェロ)

実力・人気を兼ね備えた若い世代を代表するチェリスト。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位など多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。18年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年11月、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses ～ブラームス作品集～』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。23年4月には、3rdアルバム『歌の翼に～メンデルスゾーン作品集』をリリースした。現在は、ベルリン芸術大学にてJ.P.マインツ氏に師事。20年、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。21度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞受賞。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。



日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念のもとに、本拠地・豊中から日本中へ多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、活動している。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>

～ハイドンの幕間に～
チャイコフスキー作曲
「ロココの主題による変奏曲」

単一楽章であり「チェロ協奏曲」と名付けられていないため協奏曲とは呼ばれませんが、独奏チェロとオーケストラのための作品で、ドヴォルザークのチェロ協奏曲と並んで最もよく演奏される一曲です。「ロココ」＝フランス宮廷の美術様式で繊細で優美な装飾を表す美しい楽想とチェロの華麗な技巧が光る名曲です。
佐藤晴真さんの素晴らしいチェロとセンチュリーの共演にご期待ください。



2023 HM.31 5/18 | HM.32 8/4 | HM.33 12/14 | 2024 HM.34 3/1 | HM.35 5/10 | HM.36 6/20 | HM.37 10/10 | GOAL! 2025 HM.38 3/21

ハイドンマラソン ファイナルイヤー(2024-25 ラインナップ)

指揮：飯森 範親 管弦楽：日本センチュリー交響楽団 会場：ザ・シンフォニーホール

HM. 35 2024. 5/10(金)19:00 [ソプラノ/村岡 瞳、バリトン/大西 宇宙]
ハイドン：交響曲 第42番、交響曲 第103番「太鼓連打」
モーツァルト：歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」、「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」より抜粋

HM. 37 2024. 10/10(木)19:00 [トロンボーン/ファブリス・ミリシュエ]
ハイドン：交響曲 第66番、交響曲 第31番「ホルン信号」
M. ハイドン：アルト・トロンボーン協奏曲

HM. 36 2024. 6/20(木)19:00
ハイドン：交響曲 第24番、交響曲 第62番、交響曲 第81番

HM. 38 2025. 3/21(金)19:00 [合唱/日本センチュリー合唱団]
ハイドン：交響曲 第84番、交響曲 第104番「ロンドン」
モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス、レクイエムより「ラクリモザ」